

あいさつ



鹿児島県高等学校文化連盟
会長 新納 雅 樹

本県高等学校文化連盟は、平成2年設立以来、県内高校生の芸術文化活動の振興とその教育効果の拡大を図りながら今年度で27年目を迎え、19専門部が年間を通じて活発に活動しています。また、全国高等学校文化連盟及び九州高等学校文化連盟に加盟し、これまで5千人を超える本県高校生が全国大会や九州大会に出場し、その活動の幅やレベルは全国でも高く評価され、本県の芸術文化活動や人材育成に大きく貢献してきているところです。

さて、今年度、沖縄において「第1回全九州高等学校総合文化祭沖縄大会」が、～受け継がれる英知 芽吹く創造 南風に乗って 今咲き誇れ～をテーマに12月15日から17日をメインに開催されました。那覇市の、沖縄県立武道館アリーナで行われた総合開会式では、第1部式典に続き、第2部は沖縄県の高校生によるエイサー、空手演舞、舞踊「ハーリー」が披露され、素晴らしいパフォーマンスを繰り広げてくれました。観客を圧倒するような高校生の情熱を間近に感じられる開会式でした。その後、大会は、那覇市内を中心とする各会場において様々な発表や展示が行われ、大盛況でした。

県高等学校総合文化祭は、6月の県高校音楽祭を皮切りに12月の県高校写真展まで、16部門にわたり開催されました。各部門において充実した演奏、競技、展示等が行われ、生徒の日頃の活動成果を発揮する素晴らしい舞台となりました。

また、今年度の県高校総合文化祭交流フェスタは、南薩地区が担当し、日置市伊集院文化会館ホールでステージ部門があり、神村学園による「マーチング」や松陽高校の演劇、加世田高校による「科学マジック」、鹿児島女子高校の箏曲演奏、全国総文祭報告、南薩支部合同演奏、全体合唱、そして、全国総文祭に出品した美術、書道、写真や全九州高等学校総合文化祭沖縄大会の選抜作品の展示や呈茶が実施され、参加した高校生の交流が深まるとともに今後の創作活動の刺激となる貴重な場となりました。

来年度は、第2回全九州高等学校総合文化祭が本県で開催されます。各専門部がお互いに協力しながら、その準備にあたっていかなければなりません。鹿児島大会が成功するように、各学校や各専門部の先生方や生徒の皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、平成29年度における県高等学校文化連盟の活動等をまとめた「文華」第29号が完成しましたのでお届けします。編集に当たりご苦勞をいただいた関係者の皆様方に心から感謝いたしますとともに、今後も本連盟に対する御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。